

今年もかなりの導入が進むと思われ、個別計数機は1台管理の為セキュリティも高まり今後メダル関係にも導入が進んでいくものと思われます。

今年はお客様に快適にパチンコ遊技を楽しんで頂く為にも、我々はホールの環境、消音、空気の清浄化、労働改善等に重点的に取り組んで参りますが、消費税も課題の一つで認証協のiクリアシステムは将来予見される消費税率改定にそなえ速やかに対応できる設備になっております。又、低ランニングコストが評価され、導入店舗も1,000店舗に近づいて参りました。

被災地で再開を喜ばれたという声を多くの方から頂いたという話しも聞きました。いずれにしても大衆娯楽である業界全体が一丸となって社会とのコミュニケーションと社会への貢献に努力を続けていかなければならないと考えております。

社会情勢にも大きな課題が多く、円高対策、TPPの加盟、税制改革、原子力発電問題、被災地の復興等問題が山積しておりますが、認証協加盟会社一同、力を合わせて今後共業界に大きく貢献出来る様取り組んでいく所存です。

今年、遣り甲斐のあるより良い業界であります様、皆様方のご繁栄とご健勝並びにご活躍を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

キーワードは社会貢献 全日本社会貢献団体機構

会長 堀田 力



新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、益々ご健勝で輝かしい新春をお迎えのことと心からお喜び申し上げます。また、昨年中に賜りました温かいご支援、ご協力に対しまして、厚くお礼を申し上げます。

当機構は、平成17(2005)年12月に、全日本遊技事業協同組合連合会が母体となり、学識経験者、文化人、政財界関係者が参加して設立された任意団体です。当機構の特色は、ひとつはこの組織がみずから社会貢献を行っている人たちによって構成され成り立っているということです。それと同時に、子どもの健やかな成長のための事業を始め、命を大切に研究、日本を支えていく学術・文化の振興事業に助成するという役割を持つ

ています。みずからが社会貢献事業を行うと同時に他者も支えていく組織ということができます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災からの復興には、「他者のために何かをする」「弱いものをみんなで支援する」といった精神が強く求められています。「社会貢献」は、これからの日本の社会作りの大切なカギをにぎる活動であり、キーワードであるといえます。

厳粛な年の初めにあたり決意を新たに、平和で住みよい社会づくりに貢献する事業に取り組んで参りたいと思っておりますので、より一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

「娯楽のリスク対策という側面から、人と社会に優しい娯楽の在り方に寄与できるような活動、そして提言を」

特定非営利活動法人

リカバリーサポート・ネットワーク

代表理事 西村 直之



新年明けましておめでとうございます。旧年中、様々な形で私たちの活動をご支援していただいた皆様には、心から御礼申し上げます。また、東日本大震災に被災された皆様へ哀悼の意を表すとともに、震災からの復興を支援されている遊技業界の各位に敬意を表します。

私たちは、ぱちんこ・スロットへの過度のめり込み(依存)問題に特化した日本で唯一の電話相談機関として活動しています。相談に取り組む中で、パチンコユーザーの動向と相談件数の変動が密接に関係することが解ってきました。東日本大震災をはじめ大きく変動する社会状況が、依存問題の相談としてどのような影響として現れるのか、今まで集積されたことのないデータを現在も日々電話相談を通して積み重ねているところです。

あらためて言うまでもなく昨年は、震災という未曾有の事態に日本中が揺れた一年でした。私たちは、まずはできることから緊急避難住居の提供、遊技提供者向けの震災によって生じるメンタルヘルス問題のメール相談の開設などを震災直後に立ち上げ、小さな支援を開始しました。過去の調査では、震災などの非日常的な出来事が引き金となり、アルコールや薬物依存、自殺などの問題が増加す

ることが知られています。それでは、ぱちんこ依存問題はどうか?残念ながら日本固有の遊技形態を持つゆえに、影響を正確に予想するデータがありません。しかし、被災地域の住民や被災地支援に入った人たちに、ギャンブリング問題の増加や深刻化が生じる可能性を危惧する研究者は少なくありません。目立たず地味な活動ではありますが、私たちの電話相談事業は、震災によるぱちんこ依存問題の変動に対し、より早い介入支援の道を開き、長期的には問題の推移を把握する前線の一翼を担うことができる数少ない社会資源と自負しています。この力を最大限に発揮できるよう引き続き努力を重ねていきたいと思っております。

開設以来の相談件数は6,000件を超え、遊技問題のリスクに対するセーフティネットとしての役割を果たすとともに、援助職者養成セミナーの開催、厚生労働省班研究への参加などを通して、問題の啓発や成果の社会還元に取り組んできました。社会情勢や消費動向の変動、貸金業法の改正、風営法の指導強化、低額貸玉営業の広がり、オンラインゲーム市場の拡大など遊技業を取り巻く状況は刻々と変化を続けています。残念ながらこのような状況の変動があってもぱちんこユーザーにおける依存問題の発生は避けることができません。まだまだ力が足りず、課題は山積していますが、この変化に対応し、質の高いサービスを提供できるよう努力を続けたいと思っています。

運営面では、昨年からはパチンコ・パチスロ産業21世紀会からの活動支援を受けることができるようになりました。責任は重大ですが、娯楽のリスク対策という側面から、人と社会に優しい娯楽の在り方に寄与できるような活動をして提言をしていきたいと考えています。

年頭に当たり、皆様方のご発展とご健勝を心よりお祈り致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

